

宇管工が実習資材寄贈

宇工生の技術研さんを応援



中村理事長(右)が薄羽校長に資機材を手渡した

宇都宮市管工事業協同組合(中村勝理事長)は14日、県立宇都宮工業高校に建築配管技能検定などの実習用資機材約46万円相当を寄贈した。中村理事長、川俣浩専務理事、西村理憲事業課長が訪れ、

薄羽正明校長に資材を手渡した。寄贈は今年で12回目。

中村理事長は「将来の人のつくりのため、今後も積極的に応援していきたい。資機材を使った生徒に建設業の担い手を目指してもらえたらうれしい」と述べた。

薄羽校長は「現場での基礎や基本は変化している。時代に合わせた内容を実習に取り入れていくことが重要。生徒に何を教えていく

べきか考えている。現場で何が必要になるかアドバイザーをもらいたい」と語った。

宇管工では、高校生の技能向上を図るため管材や管継手など実習用資機材一式を寄付。資材は2、3級技能試験を受験する際や技能五輪に挑戦する生徒の実習で利用。今年には建築配管技能検定2級を3年生2人、3級を2年生1人が受検する。